



スタイリオ池尻大橋

遮音スタジオと都市景観

設計・監理 東急設計コンサルタント

小川真樹建築総合計画

施工 東急建設



外觀 南面全景

立地の特性を生かした コンセプトマンションを実現

計画の始まりと周辺のこと

首都高速中央環状線の大橋ジャンクション建設により、鉄道関連施設の移転が必要となり、当地に移転するということで、2003年から計画が始まった。当初は、敷地形状も未確定だったので、まず、敷地の形状を決めるための検討が必要だった。

計画敷地は、大山街道（国道246号線）と目黒川の段丘には

さまれていて、周辺には天正年間創建の氷川神社があり、歴史が感じられる地区である。段丘の法面は豊かな緑地帯となっており、段丘上には住宅地が広がって、都立高校、図書館、大型病院などがある。目黒川沿いは緑道として整備され、また、国道沿いには店舗も

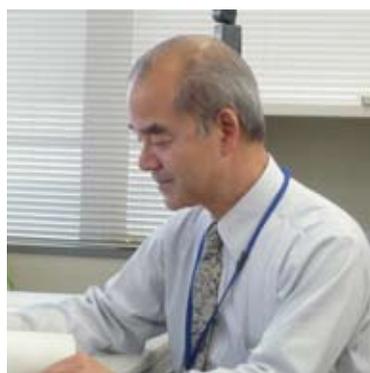
多くて活気があり、歴史と環境と利便の兼ね備わった立地であるといえる。

建物の構成

鉄道関連施設は地下に収めることとし、地上部分の用途については、当初、オフィスの計画もあったが、最終的には、低層部に商業施設、上部に賃貸の集合住宅という構成に決定した。ただ、住宅を設けるとなると、敷地南側の国道と首都高速道路に対して、どう計画するかが、大きな課題となった。

事業主側では、立地の特性を生かした特徴のあるコンセプトマンションという考えがあり、首都高速などの暗騒音を逆利用するという発想で、楽器演奏などもできる防音室を備えた住宅を計画することとした。そのタイミングで、同じ事業主の類似のコンセプトのマンションの実績がある小川真樹氏と共働することとなった。

また、商業施設面積をできるだけ確保するというのも、全体としての課題であり、住宅エントランスと附置義務駐車場とのバランスを図った。



東急設計コンサルタント
建築設計本部 第2設計統括部
部長 菅 俊明

1974年 東京大学工学部建築学科卒業
1974-1986年 大高建築設計事務所勤務
1986-1987年 倉本都市建築ラボラトリー勤務
1988年 東急設計コンサルタント入社

地域との協力

計画の途中で、国道の反対側の再開発計画の敷地から国道を横断する歩行者デッキを、この建物に接続し、エレベーターと階段を歩行者デッキ兼用とさせてほしいという要望が、目黒区と国道側からあった。当初、商業施設部分は2層の予定であったが、歩行者デッキ接続により、1階の階高が高くなるため、1階の一部に中2階を設けることとし、国道側は吹き抜けとした。現在、まだ歩行者デッキは接続されていないが、1〜2年後に完成する予定である。

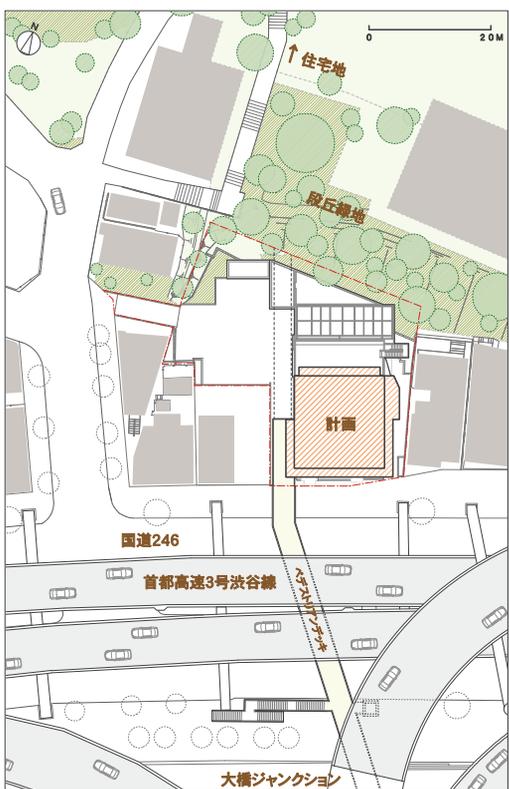
また、大橋地区では、地元と目黒区とで協議会を設けて景観ガイドラインのとりまとめが進められており、道路境界線からの後退や、外観デザイン、看板サインなどに

ついて、事業主とともに説明し協議を重ねた。

完成まで

2007年から工事が始まり、完成まで約2年半を要したが、その間にも、事業主、施工者、行政庁などと、検討や協議が続けられた。

計画の始まりから完成までの6年半余りには、多くの紆余曲折や苦労があり、数え切れない人たちが関わってきた。あたりまえのことではあるけれども、この建物は、関わったひとたちの提案や努力や苦労の集大成として完成した作品である。これは、決して、まとの言葉としての社交辞令ではなく、振り返ってみて、つくづく思うことである。（菅 俊明）



配置図



5階共用廊下



小川真樹建築総合計画
代表 小川 真樹

1983年 東京藝術大学美術学部建築科卒業
1985年 同大学院美術研究科建築設計終了
1985-1998年 三上祐三氏主宰のMIDI総合設計研究所勤務
1998年 現事務所設立

JIA登録建築家
工学院大学非常勤講師

暗騒音に対する防音室を そのまま音楽・音響室に

依頼

集合住宅のスタイルは使う人と同じように多様化の一途だが、設計者として依頼いただく仕事のスタイルも多様化している。私がこの建築にかかわらせてもらったのも珍しいタイミングだった。つまり、その時すでに地下の鉄道関連施設の設計は終了しており、上部に商業テナントと賃貸集合住宅を計画したいのだが、その集合住宅部分と地上に現れている建物の外観を考えてほしい。というのが依頼の内容であった。

最初に敷地を見に行ったときの興奮を覚えているが、それはこの敷地がとても強い個性を持った敷地だったからだ。あまりにも巨大な大橋ジャンクションと首都高速高架のメガストラクチュアを眼前にしなが、背後では静かな目黒川の段丘緑地と住宅地に面する、都市の縮図のようにも思える敷地だった。

提案

本来、首都高速などの交通騒音はネガティブな要素なのだが、そこに『高遮音室⇨楽器演奏可能な部屋』を持つ住宅を企画する意図はクライアント側に既にあった。つまり、音楽家は周囲に迷惑をか

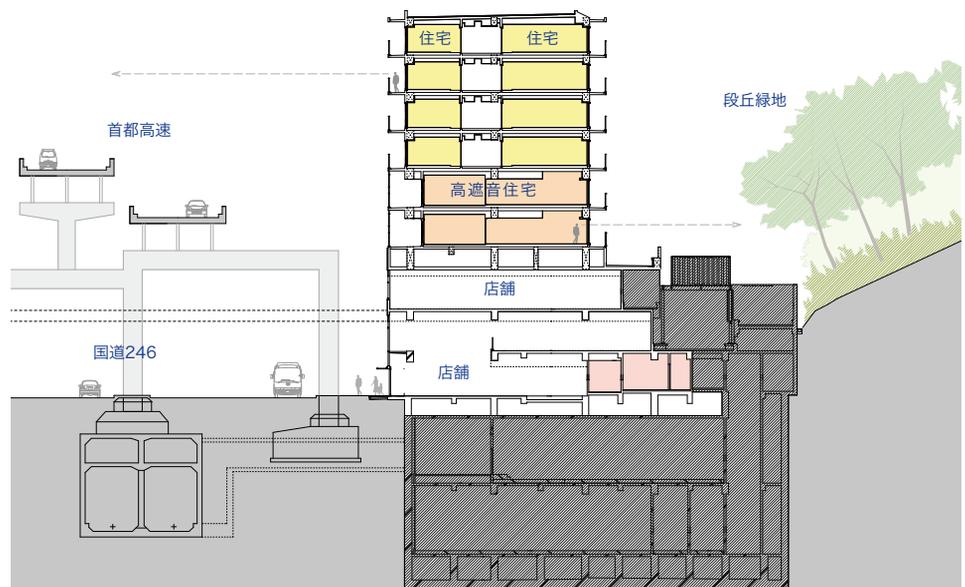
けたくないので、うるさい場所を探す。というマーケットがあったことを意味している。実はこれ以前に同じクライアントと共同で音大の学生向けの高遮音集合住宅の企画をおこなったことがあり、実施設設計と監理ではその時の経験が生かされた。

大橋が私がいまず提案したのは、首都高速の高架と同レベル以下の住宅（4〜5階）と、それよりも上層の住宅（6〜9階）とは、別世界のようにまったく異なった企画にし、南側眺望の悪い下層階を高遮音住宅、上層階はスタジオタイプ（ワンルーム）の癖のない開放感のある住宅にすべきだということだった。一般に、集合住宅は上下に積層される住宅が（特に水廻りが）共通の位置関係にあることがさまざまなメリットを生み出すが、あえてそれを無視する困難を考慮しても、そうした方が良く考えた。

また、急速に変貌しそうな地域でもあったので、将来に対して建築をできるだけフリーな状態にすべきだとも考え、柱の位置だけは既に決まっていたので、小梁の無いポイドスラブとして、水廻りダウンスラブも無い、単純な構造体を提案した。



高遮音住宅(アーバンチューブ)スタディ模型



南北断面図

住戸

上層階は中廊下から放射状に配置された5戸のユニットからなる。これらはできるだけまとまった一空間の住宅として、北面では緑地を見おろせる床までの外壁開口を設けたこずえの鳥の巣のような住宅であり、販売用呼称もアーバンレストとしている。

対して、下層階はかなり特殊な企画で、各住宅は間口、高さともに3メー強の『筒状』の住宅である（販売用の呼称も文字通りアーバンチューブ）。南側（国道側）の共用廊下から住戸に入った部分で、玄関ホールでもあり音楽室でもある土足利用も可能な高遮音室になっている。最もパブリックな高遮音室を起点として、奥に進むに従ってプライベートな機能を配置し、最後は北側の緑地を望むベッドルームで終わる。という構成になっている。

*

遮音

高い遮音性能を得るための工夫は多岐にわたるので書き切れないが、プロフェッショナルなスタジオ並みのNC値を得ることは考えず、暗騒音が大きいことを逆手にとった考え。つまり暗騒音に対する防音室が、そのまま音楽室にな



アーバンチューブ S-Type

(左) 1階 住戸エントランス (中) 住戸エントランス(夜景) (右) 住戸アプローチ(夜景)



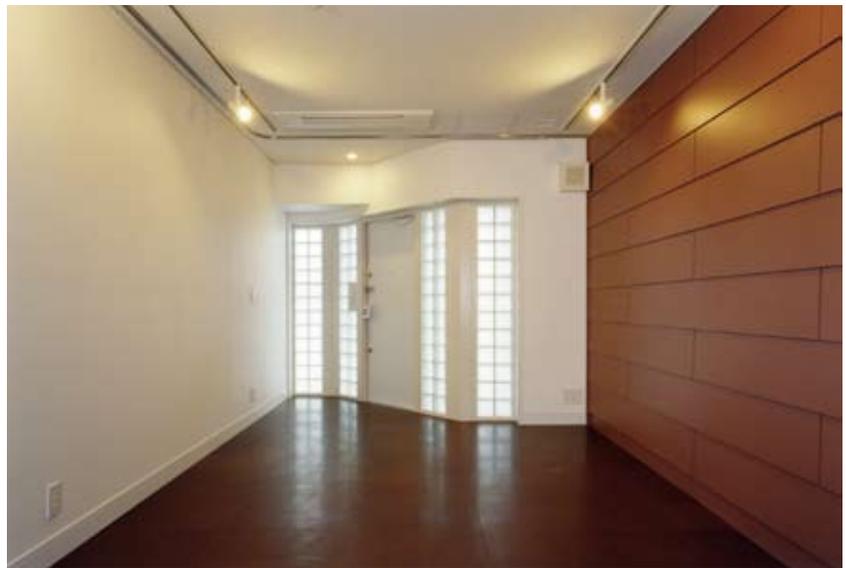
る。という思想で設計している。特に躯体への音響的振動の絶縁を第一義に考えて、開口部の仕様や仕上げの下地だけでなく、建具枠の固定方法などを重視している。いたずらに個々の工場製品のスベックを追いかけるよりは、現場に張りつけて建具や仕上げの職人に考え方を伝える努力の方がよほど効果があると感じている。

*

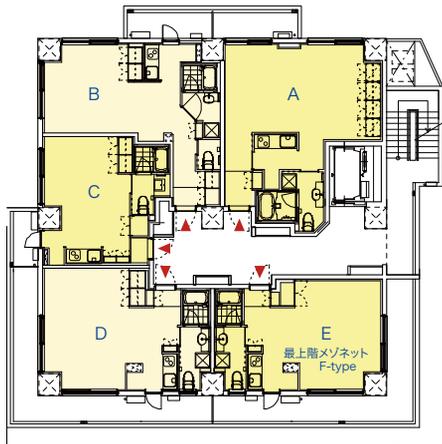
人間

集合住宅は設計時に使う人の顔が見えないので勝手に想像して設計するが、上下階の企画がまったく違う上に、同じ音楽対応住戸でも録音スタジオ仕様、音楽教室仕様、など4タイプとも違っていたため、かなりたくさんの種類の人間を想像する必要があった。

この集合住宅でそれぞれの住宅に至るには、道路から建物横の通路を敷地奥まで入り、建物を貫通するコンコースを経てからエレベーターホールに到達する。徐々に静かになってゆくこの長い通路で、これからきつといういろいろな色をした居住者の方々がすれちがうことだろう。(小川 真樹)



(上) 5階 共用廊下
(下) アーバンチューブ R-Type 遮音室



6～9階平面図
(アーバンネスト)



4・5階平面図
(アーバンチューブ)

(左) アーバンネスト F-type 下階 (中) アーバンネスト F-type 吹き抜け (右) アーバンネスト A-type





スタイリオ池尻大橋 建築概要

所在地：東京都目黒区
 主要用途：共同住宅、店舗、鉄道施設
 建主：東京急行電鉄

設計・監理

建築：東急設計コンサルタント
 担当/菅俊明 庄子正俊
 小川真樹建築総合計画
 担当/小川真樹 梅田太一 佐伯誠
 蔭山郁恵 金井直隆
 構造：東急設計コンサルタント
 担当/山口隆
 設備：東急設計コンサルタント
 担当/松本勝己 金澤靖幸 富山健一

施工

建築：東急建設
 空調：西原衛生工業所 高砂熱学工業
 衛生：西原衛生工業所
 電気：アキテム
 植栽：習和産業 石勝エクステリア

規模

敷地面積：1,176.76㎡
 建築面積：553.88㎡
 延床面積：3,757.94㎡
 建蔽率：47.15% (許容 93.81%)
 容積率：295.65% (許容 458.76%)
 階数：地下2階 地上9階

寸法

地域地区：商業地域、防火地域
 第2種中高層住居専用地域、準防火地域、第三種高度地区
 道路幅員：南側 40m 西側16m
 駐車台数：6台

構造

鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造

設備

空調：方式/個別方式
 熱源/空冷ヒートポンプパッケージ
 衛生：給水/増圧直結給水方式、水道直結給水方式
 給湯/局所給湯方式
 排水/建物内：汚水・雑排水合流方式、雨水：貯留槽方式
 電気設備：受電方式/店舗・共用部 高圧6.6kv
 住宅部 集合住宅用変圧器
 契約電力/195kw
 防災設備：消火/屋内消火栓設備、窒素ガス消火設備、連結送水管設備
 その他/自動火災報知器 熱感知器 煙感知器
 昇降機：乗用エレベータ 機械室レスロープ式二方向出入口型11人
 乗りシースルー型×1台
 乗用エレベータ 住宅用二方向出入口型9人乗り×1台

工程

2007年6月1日～2009年11月30日

外部仕上

屋根：アスファルト露出断熱防水、絶縁通気工法、トップコート仕上 ほか
 外壁：コンクリート打放しの上、超低汚染型水性アクリルシリコン樹脂塗装 一部 コンクリート打放しの上、フッ素樹脂塗装
 外構：床/インターロッキング舗装・コンクリート刷毛引き舗装 (アプローチ) アスファルト舗装(駐車場)
 植栽：フイリヤブラン、ピンカミノール、キリシマツツジ、レッドロビン、フッキソウ、キンモクセイ、ハナミズキ、オリーブ、ヘデラ

内部仕上

1～3階店舗：内装別途
 住宅エントランス：床 /磁器タイル450□
 壁 /アクリルエマルジョン樹脂塗装檜引
 天井/岩綿吸音板
 住戸：床 /フローリング、コルクタイル、リノリウム
 壁 /ビニールクロス、耐汚染型AEP
 天井/ビニールクロス、岩綿吸音板

住戸数：27戸
 住戸専有面積：28.6㎡～52.0㎡

撮影：ヨシダ建築写真事務所 佐々木徹

東急設計コンサルタント

〒153-0061 東京都目黒区中目黒3-1-33
 TEL. 03-3715-1561 FAX. 03-3715-7507
 URL <http://www.tokyu-sekkei.co.jp>

小川真樹建築総合計画

〒106-0032 東京都港区六本木5-16-5-402
 TEL. 03-5573-9192 FAX. 03-5573-9193
 URL <http://www.m-a-t.jp>